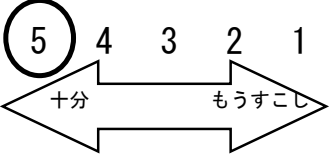
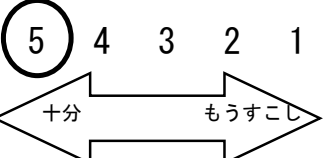
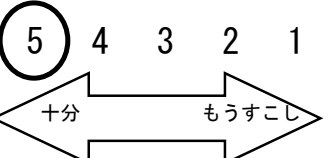


2020年度ジュニア・ライフセービング実施報告書

日時	2021年3月28日 10:00～12:10		会場	勝浦公民館					
主催クラブ	勝浦ライフセービングクラブ								
対象/参加人数	小中学生/18名、高校生1名、保護者9名								
J L Aのねらい 達成度	水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解から命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成を目指す。								
	十分達成した 達成した 達成していない								
クラブのねらい 達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・勝浦中央海岸の海の特性や避難経路、避難場所などを実践を通して確認する。 ・ライフジャケットの身に付け方、活用の仕方、離岸流への注意について学ぶ。 								
	十分達成した 達成した 達成していない								
使用機材・教具	PC、TV、ライフセービングかるた、ハザードマップ、ライフジャケット等								
タイムテーブル	楽しさ	人との関わりあい	いのちの大切さ	指導指針 参考ページ	クラブの 創意				
10	プログラム開始 【オリエンテーション】 <ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムの目的と活動内容を理解する。 ・自己紹介やグループ分けを行う。 ・なぜジュニア・ライフセービングをやっているのか考えて発表、メンバーで共有する。 								
20	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストから「伝えたいこと」を想像し考える楽しさや友だちと相談しながら、より良い答えを考えていく楽しさを味わう。 ・他の班の答えからの発見や友だちの発言からの気付きを感じる。 ・中学、高校生の答えが、本物のかるたの文に近いのか遠いのか楽しみながら取り組む。 	ライフセービングかるたを使用して、イラストから「伝えたいこと」を考えよう！	ライフジャケットを着てみよう。注意点の確認。ライフジャケットの利点を学ぼう。						
30		問後、グループごとに話し合い、発表していく。 答える順番は、低学年⇒中学年⇒高学年⇒中学、高校生。中学、高校生に関しては、それまでの答えを踏まえ、かるたの文になるよう解答する。	・避難経路について、浜にいたらサンダルを履くこと、浮き具は持って避難すること等。						
40						・ハザードマップで危険区域、避難場所の確認。ライフセーバーは率先避難者であること。			
50							・避難経路について、浜にいたらサンダルを履くこと、浮き具は持って避難すること等。		
60								・避難経路について、浜にいたらサンダルを履くこと、浮き具は持って避難すること等。	
70									・避難経路について、浜にいたらサンダルを履くこと、浮き具は持って避難すること等。
80									
90	休憩、準備								
100	マネキンを使って、BLSを体験しよう！	チームで協力して、AEDパットを貼ってみよう！	BLSデモンストレーションと簡単な説明						
110			<ul style="list-style-type: none"> ・大切なのは、大人を呼ぶこと119番通報とAEDを持ってくること。 						
120	まとめ ライフセービング教室終了								
130									
140									
150									
160									

項目	楽しさ	人との関わりあい	命の大切さ
要素ごとの達成度			
活動内容ごとの振り返り	<p>ライフセービングかるたに関しては、低学年からも思っていた以上に積極的な意見が聞けて良かった。どの活動でも楽しそうに活動していた。マネキンやAEDトレーナーに触れることが初めてだったので、興味津々で楽しく活動できた。</p>	<p>同世代のチームで積極的に話し合いを持ち、意見を聞き合い、発表では他の班の話もよく聞いていた。 ライフジャケットを着る場面では、上級生が下級生の面倒を見たり、BLSの場面でも伝えたりするなど関わり十分過ぎるほど多かった。</p>	<p>かるたの問については、防災教育を中心に行った。どの項目でも意欲的に考えて答えたり、実践してみたりと、「自分の命を守る」テーマを意識して行っていた。 補足はジュニアテキストを使用し、ライフジャケットの項目では実際に着てみたり、津波避難ではハザードマップを使用したりとバリエーション多く行ったことで、集中して行っていた。</p>
改善計画と今後の展望	<p>海での活動ばかりではなく、このような機会を行っていく必要性を感じた。年に数回行えると良い。</p>	<p>ただ単にかるたを行うのではなく、子どもたちがより考えることを目的として行ったが、とても充実した時間となった。別のバリエーションでも行っていきたい。</p>	<p>今回は、子ども達が初めて行った内容であったと思う。今後も防災教育について引き続き指導していきたい。</p>

活動写真・集合写真



活動写真・集合写真

